

適期の中干しで無効分けつの抑制と根の伸長促進!!

移 植

浅水管理や軽い田干しが徹底され、茎数は平年より多くなっています。

まだ、溝切り、中干しを行っていないほ場は、ただちに実施しましょう。中干し後は、間断かん水を行きましょう。

くなんと担い手組織協議会事務局調査 6/2（五百万石） 6/9（コシヒカリ・山田錦）>

品種	田植日		草丈 (cm)		茎数 (本)				葉齢 (葉)	
					株当り		㎡当り			
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
五百万石	5/3	5/4	25.7	26.6	17.0	11.2	382	262	7.8	7.6
コシヒカリ	5/11	5/12	32.5	30.9	17.3	12.4	350	259	8.0	7.4
山田錦	5/5	5/11	35.6	31.4	17.2	13.4	335	236	8.4	7.4

1 溝切りと中干し

◇中干し開始前（田植え25日後頃）までに溝を5m（15～16条間）に1本以上を目安に設置し、必ず溝を水吐尻に連結して下さい。

◇全品種で**ただちに中干しを開始**しましょう。ただし、茎数が少ないほ場は一度に強く干さず、**徐々に干し**ましょう。

◇中干しは、粘質土壌では4～5日間、黒ボク土壌では2～3日間の田干しを2～3回繰り返し、田面に小さな割れ目ができる程度としましょう。

2 間断かん水と飽水管理 ～入水と自然落水の繰り返し～

◇中干しが完了（足が10cm沈む程度）したら、水吐板を入れ、**間断かん水**を行い、**足が3cm沈む程度の硬さまで田面を固め**ましょう。原則、水吐板ははずさない。

◇**幼穂形成期以降は、飽水管理で水を切らさない**ようにし、稲体の活力を維持しましょう。

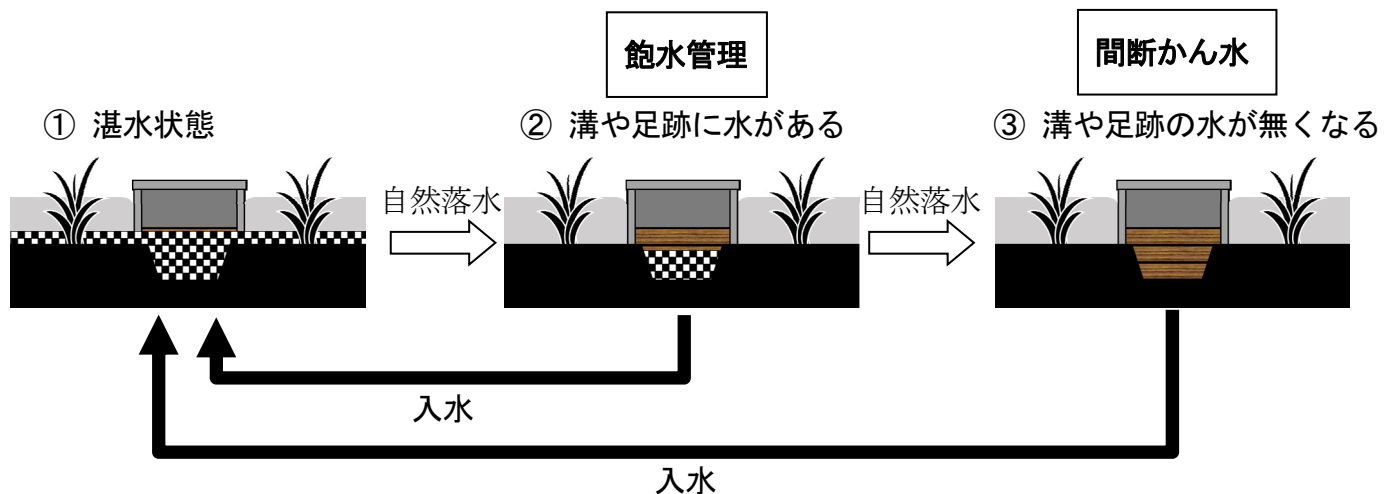


図 間断かん水と飽水管理のイメージ

3 雑草防除 【営農のてびき】p. 28～35参照

◇雑草が残っている場合は、雑草の種類と大きさに応じた除草剤を使用しましょう。

◇特栽米は使用できる除草剤は指定されているため、注意しましょう。

直 播

播種後（4月末以降）の気温上昇が緩慢だったため、カルパー、鉄コともに苗立本数はやや少なく、さらに5月下旬の低温により生育が平年よりやや遅れています。

品種ごとの中干し目安の茎数に達したほ場から順番に中干しを開始しましょう。

＜なんと担い手組織協議会事務局調査 6/2（コシヒカリ）＞

様式	播種日		苗立本数 (本/㎡)		草丈 (cm)		茎数(本)				葉齡(葉)	
							㎡当り		㎡当り			
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
鉄コ	4/29	5/1	59.7	70.4	17.8	19.7	31.0	54.8	103	183	4.3	5.1

1 溝切りと中干し 表面の「1 溝切りと中干し」参照 <中干し開始時期の茎数目安>

◇遅くとも6月20日頃までに開始しましょう。遅れると倒伏のリスクが高まります。



茎数80本/m

品種	開始時期
コシヒカリ	84～88 本/m
てんこもり	102 本/m
山田錦	82 本/m

写真 コシヒカリ（鉄コ） 中干し開始時期の茎数の目安

2 間断かん水と飽水管理 表面の「2 間断かん水と飽水管理」参照

3 雑草防除 【営農のてびき】p. 28～35参照

4 病虫害防除

(1) いもち病

オリゼメート1キロ粒剤を6月20日頃に散布（1kg/10a）し、散布後5日間程度は湛水状態を保ちましょう。ただし、ルーチンシードFSを種子塗抹した場合は必要ありません。

(2) イネミズゾウムシ、イネゾウムシ

【営農のてびき】p. 40参照

ヨーバルシードFSの種子塗抹を行っていないほ場を中心に発生しています。被害が激しい場合はご相談下さい。



写真 イネゾウムシの被害葉

カメムシの発生を抑えるため、畦畔等はこまめに草刈りをしましょう（草刈り運動6/27～7/6）。また、大麦跡ほ場も雑草が発生しないように管理しましょう。除草剤の使用に当たっては、ラベルの注意を良く読み定められた使用法を遵守しましょう。

＜お問い合わせ先＞

JA なんと営農部(62-0261)
砺波農林振興センター(32-8147)



JAなんと営農部の
電話番号は、
このQRコードから
検索できます。

なんと担い手組織協議会
生育調査データはこちら⇒
(JAなんとHP)

